



大村市まち・ひと・しごと創生の全体像

～「行きたい！働きたい！住み続けたい！」まちの実現を目指して～

人口ビジョン

中長期展望

長崎県内13市の中で唯一増加し続ける人口を、更に増加させる施策の展開

～子育てするなら大村で～
子育て支援の充実
(2030年に出生率 2.1)

～大きなチャンスを活かす～
雇用の確保
(新工業団地、新幹線)

～人が集う魅力的なまちへ～
活気あるまちづくり
(定住・交流人口拡大)

2025年の人口
10万人
2060年の人口
9.8万人

第2期 総合戦略(2020～2025年度の6か年)

基本目標

1 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり

【数値目標】
・合計特殊出生率
2.00(2017年実績 1.81)

2 安心して働けるまちづくり

【数値目標】
・創業支援塾を介した創業件数
累計100件(2018年度実績 累計56件)
・新工業団地への就業者数
累計1,000人(2019年4月分譲開始)
・農林水産業の新規就業者数
各年度16人(2018年度実績 16人)

3 住んでみたい、訪れてみたいまちづくり

【数値目標】
・観光客延数
260万人(2018年実績 197万人)

4 ひとが集う、安心して暮らすことのできる魅力的なまちづくり

【数値目標】
・転入超過数
累計5,000人
(2014～2018年実績 累計1,606人)

施策の基本的方向

◎結婚・出産・子育てしやすい環境整備の促進
【主なKPI※】
・お見合いシステム、縁結び隊による引き合わせ数
98組⇒各年度120組
・妊婦健診受診率 95.9%⇒97.0%
・待機児童数 70人⇒0人
・子育て支援センターの利用者数
113,468人⇒142,000人

◎企業誘致や地場産業の育成による商工業の振興
◎農林水産業者の所得向上と安心して就業できる環境づくり
【主なKPI】
・産業支援センターへの年間相談件数 853件⇒900件
・新工業団地売却区画数 1区画⇒4区画
・認定農業者数 223人⇒300人
・認定農業者の平均農業所得 435万円⇒520万円

◎交流人口の拡大と魅力ある滞在型観光地づくり
◎移住・定住の促進
【主なKPI】
・市内宿泊施設の延べ宿泊者数 38万人⇒45万人
・移住・定住相談件数 63件⇒各年度120件

◎快適で住みやすく賑わいあるまちづくり
◎誰もが安全・安心に暮らすことのできる地域づくり
◎すべての人が住み慣れた地域で、活き活きと暮らせる都市づくり
◎スポーツによる地域活性化
【主なKPI】
・中心市街地歩行者通行量 6,915人⇒11,000人

主な取組

- 結婚相談窓口における婚活支援
- 乳幼児・妊婦健康診査事業
- 子ども医療費助成事業
- 教育保育施設給付事業
- 地域子育て支援拠点事業
- 小・中学校教育用ICT機器活用事業
- 産業支援センター運営事業
- 創業支援塾開催
- 企業誘致推進事業
- 待機児童解消緊急保育士確保事業
- 農業漁業などにおける就業者の確保・育成
- 大村の農業を新たに担う「担い手」づくり事業
- 本市の特性を活かした着地型観光の推進
- 野岳湖、大村湾などの自然を活かしたイベントや観光メニューづくり
- グリーンツーリズムの推進
- 大村の魅力を積極的に発信するシティプロモーションの展開
- 地域公共交通計画策定事業
- 新幹線を活かしたまちづくり
- ミライオンと連携した賑わいの創出
- 大学等の誘致推進
- 高齢者の健康づくりと介護予防の推進

※KPI(Key Performance Indicators)：成果目標として各施策を客観的に検証できるようにする指標